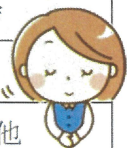


月	日(曜)	内 容	備 考
4	5(金)	事務局会	前年度の実績報告他
	14(日)	役員会	事業・体制の協議
	17(水)	役員会	総会についての協議
	23(火)	役員会	新体制・総会内容の検討
5	1(水)	事務局会	新年度体制について
	13(月)	事務局会	総会打合せ
	14(火)	監査会	H.30 年度会計
	22(水)	総会	産業・地域資源部会有り
	25(土)	防災・コミュニティ部	活動について
6	7(金)	事務局会	4・5 月実績報告等
	18(火)	福祉・生活環境部	先進地事例DVD・意見交換
	21(金)	産業・地域資源部	先進地事例DVD・意見交換
	29(土)	防災・コミュニティ部	意見交換・今後の活動
7	4(木)	事務局会	タートルフォーム部活動に向け
	5(金)	タートルフォーム部	各自治会の若い者会
	9(火)	事務局会	6 月実績報告他
	15(月)	事務局会	「たなばたの夕べ」 予算検討
	17(水)	タートルフォーム部	「たなばたの夕べ」 内容・予算
	19(金)	タートルフォーム部	「たなばたの夕べ」 内容検討
	20(土)	地域づくりフォーラム参加	
	22(月)	産業・地域資源部	情報・意見交換
	24(水)	タートルフォーム部	「たなばたの夕べ」 内容検討
	29(月)	福祉・生活環境部	活動検討・意見交換
8	2(金)	事務局会	「たなばたの夕べ」 予算検討
	3(土)	「たなばたの夕べ」準備会(役員・担当者)	
	5(月)	事務局会	7 月実績報告他
	7(水)	タートルフォーム部	「たなばたの夕べ」 最終打合せ
	9(金)	「たなばたの夕べ」 事務局全体会	
	10(土)	「たなばたの夕べ」開催(旧高田小 350 名参加)	
	6(金)	事務局会	8 月実績報告他
	13(金)	防災・コミュニティ部	文化祭に向け内容検討
9	18(水)	福祉・生活環境部	サロン活動他
	27(金)	防災・コミュニティ部	文化祭内容(自衛隊と打合せ)

月	日(曜)	内 容	備 考
10	7(月)	事務局会	9 月実績報告等
	10(木)	地域づくり研修	
	23(水)	福祉・生活環境部	かめさんサロン試行
	29(火)	防災・コミュニティ部	文化祭内容最終確認
	30(水)	産業・地域資源部	今後の活動に向けて
	〃	事務局会	諸連絡
11	7(木)	事務局会	10 月実績報告等
	8(金)	福祉・生活環境部	かめさんサロン試行報告他
	10(日)	防災・コミュニティ部	文化祭の講演(自衛隊・消防署)
	13(水)	地域づくり研修会	
	16(土)	視察研修(雲南市掛合町波多・出雲市佐田町反辺)	
12	20(水)	防災・コミュニティ部	「救急医療キット」の設置他
	27(水)	福祉・生活環境部	第 1 回かめさんサロン
	4(水)	福祉・生活環境部	振り返り(先進地視察)
	5(木)	事務局会	11 月実績報告他
1	6(金)	視察研修 (浜田市今市公民館)	
	23(月)	産業・地域資源部	振り返り(先進地視察)
	25(水)	福祉・生活環境部	第 2 回かめさんサロン
	〃	事務局会	今後の活動
	8(水)	事務局会	12 月実績報告他
2	14(火)	防災・コミュニティ部	「救急医療キット」の設置
	15(水)	事務局会	実践発表・来年度へ向けて
	24(金)	役員・各部長・副部長会(総会について他)	
	29(水)	福祉・生活環境部	第 3 回かめさんサロン
3	3(月)	地域づくり実践フォーラム(各地域実践発表)	
	5(水)	事務局会	1 月実績報告他
	〃	産業・地域資源部	総会に向け、活動報告他
	〃	福祉・生活環境部	今後の活動
	12(水)	福祉・生活環境部	総会に向け、活動報告他
	〃	防災・コミュニティ部	総会に向け、活動報告他
3	17(月)・21(金)	役員会	総会企画検討会
	26(水)	総会	
3	5(木)	事務局会	2 月実績報告他



誌名
決定
です!

会報:「きずなくん」

人 口 : 1,080 名
男 性 : 523 名
女 性 : 557 名
世 帯 数 : 394 戸
3 月 31 日 現在

令和元年度「亀嵩地区小さな拠点づくり委員会総会」より

令和 2 年 2 月 26 日 亀嵩公民館に於いて開催されました総会での事業報告です。

総 括

支援員 杉谷 勤

1. 人口減少や高齢化の進行により、必要な生活サービスや機能が維持できなくなります。暮らしを守り、地域コミュニティを図りながら地域づくりを目的として本事業を昨年度から取り組んでいます。2 年目となる今年度は、アンケート・ワークショップから見てきた【生活や暮らしの問題・農業・地域防災・地域コミュニティ・地域資源活用策】の 5 つの課題を 3 つの専門部会に分け、課題解決に向けて活動してまいりました。
2. 委員会に民生児童委員・農業組織代表の専門的検知や、地域の次代を担う青年グループを新たに加え、各部会の調整・充実を図りました。
3. 自治会に「小さな拠点づくり委員会」の活動内容の理解、周知徹底を図る為。又、各専門部が活動の維持・継続を理解する為、委員任期を 2 年間としました。
4. 共通した課題に取り組んでいる先進地から実現へのノウハウを学ぶため、2 回で 3 か所の視察研修を実施し、各部会で協議・共有し今後の取り組みに活かすこととしました。
5. 亀嵩小学校の協働により地区文化祭で「幸福論 10 年後の亀嵩」として子供たちが描く地域への思いや地域の将来像が発表されました。
 ≪こんな地域にしたい宣言⇒子供たちが 10～20 年後帰りたい町づくり≫
 また、亀嵩小学校のシンボルキャラクターの「きずなくん」は連帯感や一体感を表現するものであり、地域に浸透し親しまれていることから今後地域のシンボルとして活用して行きます。

◎ これからの挑戦項目

- ・子供たちと協働で
夢を実現できる地域づくり
- ・安心安全で助け合い
防災の地域づくり

「みんなでやろう」「やってみたい」言うのは簡単だけど
 一歩踏み出し 実行・実践するのは難しい。
 共有、共感、納得感 皆でたくさんの「難しい」を一緒に
 乗り越えて たくさんの「楽しい」に変える。
 そして皆が、地域が元気になる。
 亀嵩地区はそんな地域づくりを目指します。

各 部 会 の 報 告

☆ 産 業 ・ 地 域 資 源 部

部会長 石原 信夫

【部会会議・研修視察等実施状況】

1. 部会会議

R.1	5 月 22 日	役員構成等確認・その他協議
〃	6 月 21 日	益田市真砂地域の活動を DVD 研修 ワークショップ
〃	7 月 22 日	具体的な取り組みについて協議 「草刈応援隊」の体制づくり等
	12 月 23 日	研修視察の報告・振り返り等
R.2	2 月 5 日	今年度の総括・今後の活動協議

2. 研修視察

R.1	11 月 16 日	未来サポート佐田 (出雲市)
〃	12 月 6 日	四つ葉助け愛隊 (浜田市石見今市公民館)



【部会、研修視察を終えて】

小さな拠点づくり活動が活発に行われている益田市真砂地区の活動状況の DVD 研修からスタートし、DVD 研修を踏まえ、部会で意見交換を行うと共に平成 30 年度のアンケート結果から地域が「何に困っているか」「何を求めているか」また、それに対し自分達に何が出来かなど協議しました。その結果、庭先や農地等の草刈作業に困っている方が多い事が分かりました。また、部内の意見として当部会は地域資源についても対象となっていることから、大きな集客力を持っている玉峰山荘や道の駅 また、地域資源の観点から芝桜や蛍の活用といった意見もでました。結果「まずは自分達が出来る事から…」に意見が一致し、＜草刈り応援隊＞に取り組んで行こうと目標が見えてきました。しかし、＜草刈り応援隊＞といっても漠然としていることから、先進地視察を行い活動状況や発足時から現在の状況など丁寧な説明を受けた所です。来年度は、試験的にでも行動に移して行こうと考えているところです。

☆ 福祉・生活環境部

部会長 岩田 年之

【活動報告】

1. 平成 30 年度のアンケートを踏まえ、部内でワークショップを行い、「独居・高齢者関係」「交流関係」「交通支援」等項目別に心配事や困り事の抽出を行いました。さらに抽出した項目の中から、『重要かつ取り上げやすい事から始める』を活動の基本に、まず安否確認の一環として熱中症対策等注意喚起としてページング放送での声掛けを行いました。
2. 「かめさんサロン」は、地区内の交流を図る一環として、高齢者を中心に玉峰山荘を会場として、昨年 10 月に試行してから 2 月まで毎月最終水曜日に計 5 回開催しました。玉峰山荘やサポーターの皆さん、役場健康福祉課等たくさんの方々にご協力いただきました。サロンでは、健康体操や読み語り、ゲームや歌等で交流を図り又、健康相談・詐欺防止の話等内容も様々で、有意義な時間を提供できたと思っています。参加者からも一様に好評化をいただいていることを申し添えます。
3. 雲南市掛合町波多地区へ先進地視察に伺いました。廃校になった小学校を改修した交流センターを拠点とし、そこにマーケットをオープン。車で送迎を含めた「買い物支援」・「交通支援」を行いながら、さりげない見守り活動が行われており、今後の活動の一助となった思いがしました。

【今後の課題】

1. かめさんサロン

- ・メンバーの固定化を避ける
- ・実施日の周知（PR 方法）
- ・持続的な予算確保
- ・幅広い声掛け、その反響確認
- ・幼稚園児等世代間交流

2. 助け合い活動

（買い物支援・除雪）

- ・ニーズの把握（困り事等）
- ・個人の情報（収集・管理）
- ・各部会との連携・情報の共有

3. その他

- ・福祉委員や青年、女性等幅広い参画の検討を求める。



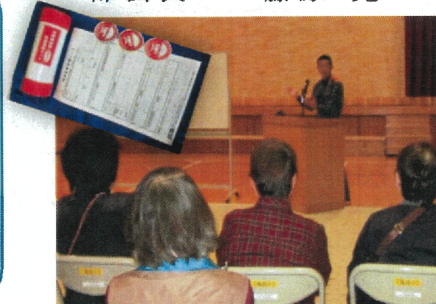
☆ 防災・コミュニティ部

部会長 藤原 晃

【平成 30 年度アンケートの意見・要望より】

- ・イベントを沢山してほしい
- ・亀嵩の活性化に繋がる活動をして欲しい
- ・活動は 30～50 代の若い人の企画・運営を望む
- ・先ず、小さな事から事起こし
- ・地域住民相互の交流無くして助け合いは無い etc.

これら地域からの声は響いてきた。そこで防災・コミュニティ部は、交流イベントと防災について取り組むことにしました。



【活動総括】

1. コミュニティ

- ・「たなばたの夕べ」の開催 令和 1 年 8 月 10 日(土) 旧高田小学校 参加者 350 名
世代を超え地域住民が一同に会し、協力し楽しみながら交流を深め「絆」を育み住民が支え合う地域を創ることを目標に、各自治会の若い者会へ呼びかけ協力を求め、チーム＜タートルリフォーム＞が結成され、企画運営に若い力が発揮されました。今回は楽しい集いとなりましたが、今後も事前打合せ等充分検討し、より目的意識を共有した活動でありたいと思います。

・「きずなり」の活用方策

小学校及び地域で親しまれている「きずなり」をポロシャツ等のポイントにデザイン化し、地域の賑いにユニホームとする等、幅広く用い、活用する事で地域の一体感を創出したいと思います。

2. 防災

- ・自衛隊、奥出雲消防による「講演・実技」令和 1 年 11 月 10 日（日）亀嵩ふれあい文化祭にて全国各地で自然災害は発生しています。近年亀嵩には大きな災害はありませんが、安穩としては、あまりにも無防備です。いつ発生するか分からない災害。備えは？どう動く？住民の危機意識が少しでも上がる事を目的に実施しました。講演会での内容を考慮し、地域住民が防災、緊急時の対応を徹底するために絆を深め初動行動に繋がる活動を考えていきたいと思っています。

3. 緊急時の情報確認手段

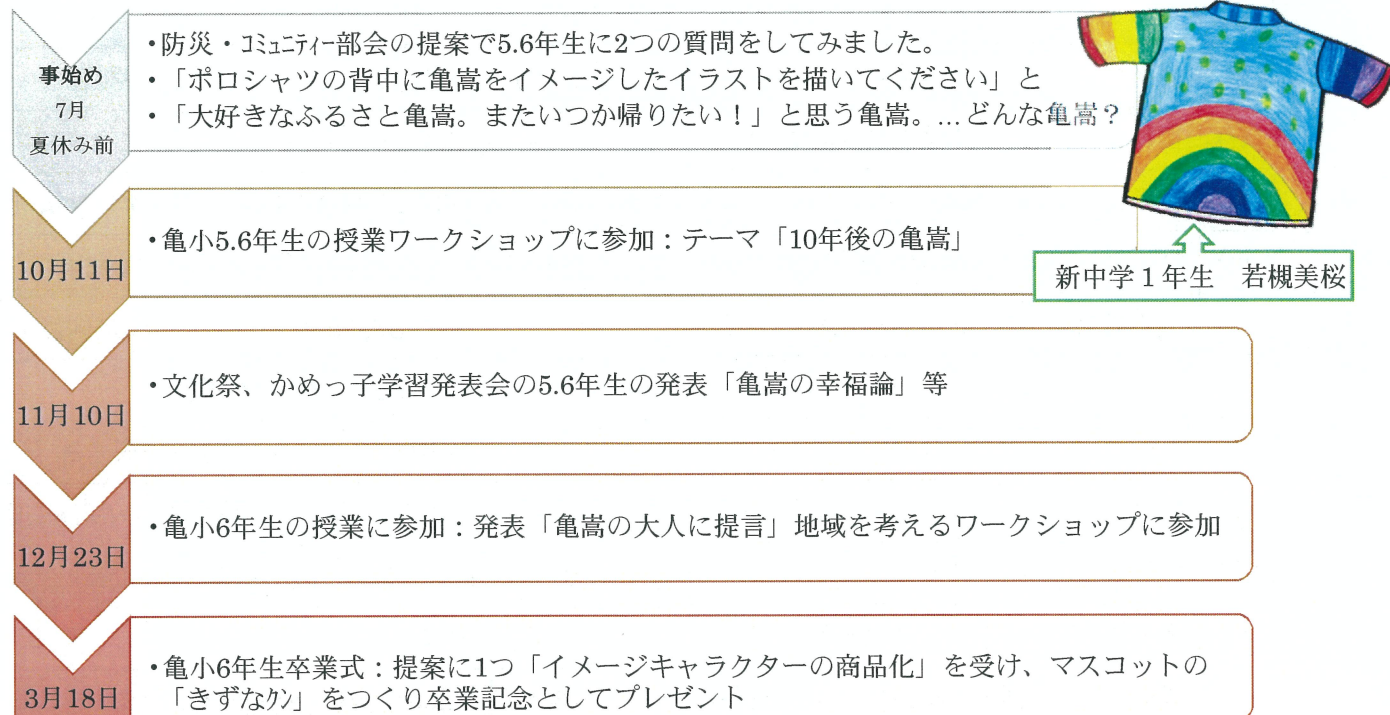
文化祭での学び「まさかの備え」は、「自助」あつての「共助」と実感しました。高齢化が加速する中で自らを守る活動として＜医療情報キッド＞が有効であることを知りました。設置の重要性を感じ、今出来る事として全戸の理解を得ながら進める事を考えています。

【今後の活動について】

- ・世代間交流・・・世代間交流「第 3 回 たなばたの夕べ」
- ・避難訓練・防災食体験・・・秋の火災予防週間



☆ 事務局等その他の活動

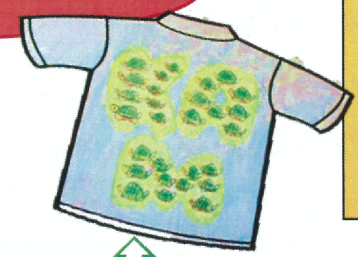


新中学 1 年生 若槻美桜

亀嵩小学校との繋がりへ...



新中学 1 年生 山根咲弥



新中学 1 年生 内田茉莉

活動写真紹介

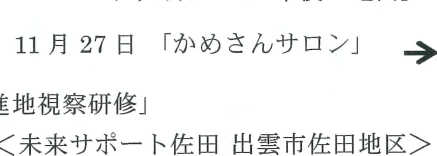
11 月 10 日「自衛隊の救護実演 in 文化祭」



12 月 23 日亀小 6 年生発表
「亀嵩の大人に提言」



10 月 11 日亀小 5.6 年生授業に参加
ワークショップ「10 年後の亀嵩」



11 月 27 日「かめさんサロン」



3 月 11 日マスコット「きずなり」完成
6 年生への卒業記念 3 月 18 日

11 月 16 日「先進地視察研修」

＜雲南市掛合町波多地区＞



＜未来サポート佐田 出雲市佐田地区＞



令和 2 年 2 月 26 日「総会」

